
COMITIA129ペーパー、あるいは新刊の後書きに書ききれなかったこと

震災復興の「今」を記録し伝える写真集、「大槌町 ここは復興最前線 ～そして空と海と山に抱かれた街2018～」の発行と、「大槌町 ここは復興最前線」シリーズ完結に寄せて

2016年8月21日のCOMITIA117で2015を発表して丸3年が経ちました。2015を作っている最中あるいはCOMITIAで頒布した後、もう一冊ぐらいは作りたいな…と漠然と思っていたことを思い出します。ですが、蓋を開けてみたら、4年で4冊、468ページ、1890枚、1988グラム、8500円と、想像を絶するシリーズになってしまいました。もし、このペーパーを4冊の写真集とともに読んでいる方がいるならば、改めてこの場で感謝を申し上げます。長年の応援、本当にありがとうございます。そして、このシリーズを一冊でもお持ちの全ての読者に感謝を申し上げます。大槌あるいは東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）のその後に興味を持って頂き、誠にありがとうございます。また、様々な場所で頂いた感想はシリーズを完走する大きな励みになりました。どうもありがとうございます。

このシリーズは、日々撮影したなんでもない写真、当時としては日常とも言える復興工事現場の写真をひたすらに綴っただけの、一見とても地味な写真集です。私はただそこにいて何気なく写真を撮り、Lightroomで現像し、Photoshopで並べたに過ぎません。

しかし、写真一枚一枚に記録された小さな事実を1890枚積み重ねることで描き出される燦めき、人々の営み、復興にかける思い、そういったものが皆さんの心を動かしたのだと思います。

普段はオリジナル小説で活動している中で、自分でも暴挙とも思える写真集の発行。苦しいこともありました。得られたものも多かったです。「続きは作らないのですか」「総集編は出さないのですか」「旧作の再版はありますか」といったお問い合わせを頂く事もあります。いずれも予定無しです。「今を伝える」という趣旨からも外れてしまいますし、これ以上赤字を垂れ流すわけにもいきません（苦笑）。旧作については電子書籍をご用意しておりますので、赤字解消のためにもどうぞご利用下さい。電子書籍に抵抗があるならば、アンテナショップや通販で岩手や宮城、福島の商品を買って下さい。もちろん、電子書籍と地元商品、両方買うのも大歓迎です。

もう岩手を離れてしまった私から皆さんに伝えられることはこれでおしまいです。続きは自身の目で、現地で、大槌の、三陸沿岸の行く末を見つめて頂ければ幸いです。

鈴響雪冬 2019年8月25日

復興事業の流れとシリーズ各巻の収録範囲（目安）

復興工事の作業工程と写真集の収録範囲は次の画像のようになっております。2015や2016は大型重機が盛り土や整地、上下水道の敷設工事を行う様が収録されています。2016と2017では造成工事が一段落した部分から宅地の整備や住宅再建が始まります。また2017はJR山田線の海側区間（宮古から釜石）までの復旧工事や図書館の再建など、今までにない工事が行われています。2018はハード面の復興工事の集大成としてJR山田線の復旧や大槌駅の復旧などが収録されています。

作品	2015		2016		2017		2018		
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	
年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			
作業工程	試験盛り土	盛り土		宅地整備	宅地引き渡し	住宅再建	鉄道復旧		
主な出来事	・ 6月 町方地区安全祈願祭			・ 3月 未広町まちびらき	・ 7月 県道280号開通	・ 5月 地区内最初の商店再建 ・ 8月 未広町よ市復活	・ 10月 宅地引渡し終了 ・ 11月 引渡し式 ・ 2月 三陸CF初開催	・ 6月 おしゃっち開館 ・ 8月 試験走行開始	・ 1月 大槌IC一部開通 ・ 1月 試運転開始 ・ 2月 旧庁舎解体 ・ 3月 三陸鉄道リアス線開通

在庫状況、通信販売、電子書籍のお知らせ

2015、2016の紙の本の在庫はなくなりました。電子書籍をご利用ください。2017の紙の本の通信販売在庫はなくなりました。残りはイベント頒布のみとなっております。電子書籍は2015～2017の3巻をBOOTH、BOOK☆WALKER、kobo、Kindleなど、国内13ストアで行っています。2018の電子書籍発行予定は未定です。イベント参加予定や電子書籍の詳細は次のURLかQRコードをご利用ください。



公式サイトURL <https://snowysnow.sakura.ne.jp/>

作者Twitter [@suzuhibiki_yuki](https://twitter.com/suzuhibiki_yuki)

図書館での閲覧、貸し出しのお知らせ

「大槌町 ここは復興最前線」シリーズは国立国会図書館、岩手県立図書館、大槌町立図書館の各図書館で閲覧が可能です。また、県立図書館と町立図書館は貸し出しも行っています（新刊の2018は納本手続き中）。お立ち寄りの際はご利用下さい。